

札幌市下水道 脱炭素構想



次の100年を拓く
下水道の新たな道のり

札幌市下水道河川局

策定にあたって

地球温暖化を要因とする気候変動により、記録的な熱波やハリケーン、洪水や干ばつなど、世界各地では大きな自然災害が発生しています。

この気候危機ともいえる状況の中、国内外では脱炭素化への動きが加速しています。札幌市においても、市内から排出される温室効果ガスを 2050 年には実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを 2020 年に宣言し、目標達成に向けた取組等を示した「札幌市気候変動対策行動計画」を 2021 年に策定しています。さらに、2022 年には、地域特性等に応じた先行的な脱炭素の取組を進める「脱炭素先行地域」に選定されるなど、脱炭素の取組をさらに加速させています。

下水道事業は、大雨による浸水被害からまちを守り、健全な水循環や清らかな水環境を創出するという重要な役割を担うとともに、下水汚泥や下水熱といった資源・エネルギーを有しています。その一方で、多くの電力や燃料などのエネルギーを使用するとともに、処理の過程において多くの温室効果ガスを排出しています。そのため、下水道が持つ資源やエネルギーを最大限に活用し、環境に配慮した事業運営に率先して取り組むことが求められています。

札幌市の下水道事業では、2012 年に「札幌市下水道事業における地球温暖化対策推進計画」を策定するとともに、2020 年に「札幌市下水道ビジョン 2030」、2021 年には「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025」を策定し、低炭素・循環型都市の実現に向けた取組を確実に進めております。

このようななか、札幌市下水道事業は、2026 年に開始 100 周年を迎えます。次の 100 年を拓く下水道の新たな道のりとして「札幌市下水道脱炭素構想」を策定し、良好な環境を次世代の子どもたちに引き継ぐため、市民・企業・学術機関と連携を図りながら、職員一丸となって下水道事業の脱炭素化への歩みを進めてまいります。

2024 年(令和 6 年) 3 月

札幌市下水道河川局長 小泉 正樹

札幌市下水道 脱炭素構想

目次

第1章 策定の背景.....	1
1-1 気候変動の現状	1
1-2 気候変動に関する国内外の動向	4
第2章 構想の位置づけと温室効果ガス削減目標.....	8
2-1 構想の位置づけと目的.....	8
2-2 構想期間.....	8
2-3 温室効果ガス削減目標.....	9
第3章 下水道事業において排出される温室効果ガス	10
3-1 下水道の整備状況	10
3-2 現状と課題.....	11
第4章 脱炭素に向けた方針と取組の方向性.....	17
4-1 脱炭素に向けた方針.....	17
4-2 取組の方向性	17
第5章 目標の達成に向けた取組と削減効果.....	18
5-1 温室効果ガス削減の考え方	18
5-2 目標の達成に向けた取組と削減効果.....	20
取組の方向性Ⅰ 温室効果ガスの削減（省エネ）	21
取組の方向性Ⅱ 下水道資源の活用（創エネ・再エネ）	24
取組の方向性Ⅲ 多様な分野・主体との連携.....	26
5-3 温室効果ガス削減効果のまとめ	30
5-4 2050年以降の取組.....	33
第6章 進行管理と情報発信	35
6-1 進行管理.....	35
6-2 情報発信.....	36
用語の解説	37